

施政方針

令和7年第5回斑鳩町議会定例会

令和7年12月1日

本定例会は、町長選挙後初の町議会ということで、私の町政運営に対する所信を申し上げます。議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと思います。

この度の町長選挙におきまして、無投票という結果を受け、3期目の町政を担わせていただくこととなりました。改めてその責任の重さを痛感し、町の発展に全力で取り組む決意を新たにしているところであります。

この場をお借りして、町民の皆様から温かいご支援を頂戴しましたことに、心より感謝申し上げます。

これまでの振り返りますと、平成29年に町長に就任して以来、「町民の安全と安心を守る」との思いのもと、子育てしやすい環境を整え、子どもたちの笑顔があふれるまちをめざし、「元気な“斑鳩っ子”」を増やすための取り組みや国・県と連携した治水対策を重点的に進めるなど、町政運営にあたってまいりました。さらに、新型コロナ対応や物価高騰といった喫緊の課題には、効果を確保しつつ、常にスピード感のある対応に努めてまいりました。

これらの取り組みは、私一人ではできません。町政を支えている職員一人ひとりが「自分ごと」として、取り組んだ結果だと思っています。

3期目におきましても、これまでの2期で築いた基盤をもとに、議員の皆様とさらなる信頼関係を築き、初心を忘れず、職員とともに、知恵を出し合いながら、全力で町政運営に取り組む所存であります。

私は、今回の選挙において、「和のこころ」で未来へ続く斑鳩を創るために、「住み続けたい・住んでみたい・訪れたい」と思っただけのまちを実現し、本町が「選ばれ続けるまち」となるよう、3つのビジョンを掲げさせていただきました。

それでは、これからの町政運営における主な施策について、私が掲げたビジョンに沿って概要を申し上げます。

はじめに、第1の柱「安全・安心・快適にらせるまちについて」であります。

まず、最優先すべきことは「命と暮らしを守る」ことです。異常気象の影響がこれまで以上に強まる今、治水・減災、そして地域の安全網の強化は、一刻の猶予もありません。安全・安心は持続的な成長の基盤であり、これらを着実に推進します。また、人口減少と少子高齢化の進行を踏まえ、財政の健全化と行政サービスの効率化を進めながら、誰もが安心して暮らし続けられる持続可能な地域づくりを実現します。

はじめに、流域治水と内水対策の強化として、国との緊密な連携のもと、大和川遊水地の整備を促進し、浸水リスクの低減を図ります。あわせて、奈良県と引き続き連携し、三代川や富雄川の改修を促進し、流域全体での安全性向上を実現します。

さらに、短時間強雨に備えた町内要所の雨水貯留施設の整備、内水浸水想定区域図の作成をすすめ、住民周知と避難行動計画の実効性の向上を図ります。

次に、防災力の底上げとして、避難所施設の機能拡充と環境整備を進めるとともに、自主防災組織の活動支援を拡充し、地域の共助力を高めます。

また、皆様にご心配をおかけしている下司田池は、防災機能を備えた公園として整備を進め、平常時の憩いと災害時の安全確保を両立させます。

次に、安全・安心の見える化として、不審者の逃走経路となり得る主要箇所へ町設置の街頭防犯カメラを計画的に増設します。あわせて、家庭用防犯カメラ設置費用の助成制度を創設し、地域全体で犯罪抑止力を高めます。

次に、交通利便性と生活拠点の再編として、幹線道路ネットワークの強化に向け、いかるがパークウェイの県道への早期接続を促進するとともに、関係機関と連携して国道や県道の改良を要望し、安全性と交通利便性を高めます。

また、JR法隆寺駅周辺は、西和医療センターの移転・再整備との相乗効果を生かし、都市機能の集積、回遊性、公共交通の利便性を高め、まちの玄関口にふさわしい整備を進めます。

次に、行政のデジタル化として、令和10年度までに、すべての手続きを原則電子申請化するとともに、「書かない窓口」を実現し、住民や事業者の負担軽減と行政の効率化により、暮らしの質を高めます。

続きまして、第2の柱「子どもから高齢者まで笑顔が輝くまちについて」であります。

少子化と高齢化が進む今こそ、「人への投資」を加速します。妊娠・出産から子育て、教育、そして高齢期の生きがいまで、切れ目のない支援を広げます。

まず、伴走型で支える妊娠・出産・子育てとして、妊娠期から出産、乳幼児期、就学期まで、保健・福祉・教育の専門職が伴走する支援を拡充し、産前産後ケア、相談支援、健診の充実により、子育て期の不安の軽減を図ります。

また、保育ニーズに応じた受け皿の確保を進めるとともに、第2子からの保育料の無償化、町立保育所の「手ぶら登園」導入により、子育て世帯の経済的、時間的負担を軽減します。

次に、学びの質を高める教育環境の整備として、小中学校の給食無償化を段階的に進め、子育て世帯の経済的負担を軽減します。

また、学校施設の長寿命化計画を策定し、計画的な改修を進めます。

さらに、1人1台端末の更新とネットワーク環境の整備により、個別最適な学びの実現を後押しします。

次に、放課後の安心と保護者の就労を支える仕組みとして、学童保育のニーズに応じた受け皿の確保と適正な定員管理を行うとともに、町立学童保育室において、長期休業期間中の昼食提供を実施し、子どもの健康と働く保護者を支えます。

次に、健康寿命の延伸と地域の支え合いとして、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施により、健康寿命の延伸を図ります。

また、高齢者の補聴器購入助成制度の対象者拡大と助成額の引上げにより、高齢者の「聞こえ」を支え、社会参加を後押しします。

さらに、関係機関との連携により重層的支援体制を整備し、8050問題やヤングケアラーなど、複雑化・複合化する地域生活課題の解決に取り組みます。

また、障害のある方が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、広域連携による地域生活支援拠点を整備し、緊急時の受入れの体制を確立します。

次に、福祉と環境を結ぶ暮らしの基盤づくりとして、高齢者等のごみ出し支援と生ごみ資源化の促進を見据えた可燃ごみの戸別収集を全町展開し、高齢者等の生活支援と資源循環を同時に進めます。

次に、不登校対策の充実として、「子どもと親のフリースペース“くるむ”」の開室日を拡充します。

続きまして、第3の柱「歴史文化資源を生かした、活力とにぎわいのあるまちについて」であります。

世界遺産・法隆寺を核として、本町固有の歴史・文化・自然の価値を守り育て、その魅力を暮らしと地域経済の活力に結びつけます。歴史文化資源の保全と活用を両輪とし、回遊・滞在・消費を促す仕組みを地域と共に創ります。

まず、文化遺産の保全・活用と歴史公園の機能強化として、町内に残る最も古い古民家である安田家住宅と春日古墳の保全・活用計画を策定し、貴重な歴史文化資源を将来世代へ確実に継承します。

また、史跡中宮寺跡歴史公園北側の駐車場整備に合わせ、遊具を設置し、住民にも、来訪者にも親しまれる公園として魅力の向上に取り組みます。

さらに、法隆寺門前広場を再整備し、世界遺産にふさわしい法隆寺周辺の景観向上と回遊性を高めます。

次に、持続可能な観光地域経営として、観光地域づくり法人を中心に商工会等各団体と連携し、持続可能な観光地域づくりを推進します。

また、関係自治体とも連携し、旅行商品の企画・販売、戦略的プロモーションを展開し、誘客の拡大に取り組むとともに、斑鳩ブランド商品のPRや、魅力ある飲食・物販の起業支援などを進めます。

さらに、開業予定のマルシェ・宿泊施設を起点とした「散策・回遊・着地型のまちあるき観光」を推進し、観光客の滞在時間と地域消費・雇用創出の拡大を図ります。

最後に、農業の活性化として、農地の活用と担い手確保、遊休農地の解消に取り組み、食の地産地消、観光との連携を進めます。

さらに、農と観光の相乗効果により、地域の魅力と暮らしの豊かさを高めます。

以上、町政運営の取組方針と町政に臨む基本的な考え方について申し述べさせていただきました。

私は「和のこころ」のもと、初心を忘れずに、町民の皆様に寄り添い、さらに対話を重ねながら、ただいま申しあげた取組みを全力で推し進めてまいります。

加えて、「今、何が必要か」、「何を変えるべきか」をきちんと見極め、将来を見据えた持続可能なまちづくりを展開してまいります。

どうか議員皆様におかれましては、さらなるご支援、ご指導を賜りますようよろし

くお願い申し上げます。